

は し が き

付属器の皮膚全体に占める割合は少なく、付属器疾患が生命予後に影響する大きな問題を起こすことは稀です。しかし、通常の皮膚とは構造が異なる器官で、独特の機能を有しているため、無汗症のように体温調整に大きな影響があったり、黄色爪症候群のように内臓疾患の兆候だったりすることがあります。また、脱毛症や睫毛貧毛症、扁平苔癬や乾癬による爪変形のように外見を決める重要な要素となっていて、患者の quality of life に大きな影響を持つこともあります。付属器疾患には難治なものも多く、疾患により個別の対応が必要となり、診療の際には通常の皮膚疾患と異なる視点が必要とされます。

本書は日常診療で疑問が生じた際に手軽に参照できるような冊子を目指して、Q & A の形式で脱毛症、先天性毛髪疾患、真菌症のような疾患だけでなく、抜毛症のような心理的な問題、ウィッグや睫毛、ジェルネイルなどの整容的なテーマも含めて、日常診療で扱う臨床的な諸問題を取り上げてみました。具体的には、『1. 毛』『2. 脂腺』『3. 汗腺』『4. 爪』の4部構成とし、それぞれに“構造と機能”に関する総説を取り上げ、日常診療で生じる疑問をあげています。

総説からすべてのQ & Aを通読いただくのが本来ですが、目次の中からご興味を持っていた項目を拾い読みしていただくこともできるようにしています。日々の診療・仕事に追われる多忙な先生方の日常診療にお役に立てば、幸いです。

2020年5月

「皮膚科の臨床」編集委員会

土田 哲也

五十嵐敦之

相馬 良直

林 伸和

佐伯 秀久